

原田 Takumi Harama

1 死に直面する者の視線

壁を背に手足を投げ出して座る。発熱を感じる、筋肉の引きつりを感じる、震えを感じる、のけぞる。

2 寄る辺の無い者

壁面に寄りかかり背中、手、頭で居心地、違和感を探る。

3 昔日のダンス

かつて踊った相手が不在のダンスを記憶で踊る。相手はでっぶりした人、やせぎすの人、骸骨の人

4 吊られては落とされる。

頭の中から不在の糸で吊られては落とされる、吊られては落とされる。

5 かかし

肩に不在の木の棒をくくりつけられてあがく

6 野犬

腕の重さを感じて路上生活者の歩きをする。

7 死体

立ってのけぞり、死後硬直を感じる。

小椎尾久美子 kumiko Kojio

●ショーウインドウ

どう他人に見られているか。大丈夫なのか。 自分的に「良い」と思ったり「悪い」と思ったり

●会話

(椅子に包帯を巻く) 相手のことばをきく、大丈夫だと慰める。相手を、あるいは自分を。

●エビータのバルコニー

観衆から喝采を受ける。誰も私を否定しない。

●子宮の壁

胎児の時にかんじた、感触・温度・暗さをたどる。何も汚れてない時の自分。

●とさつ場

(床にからだを投げ出される。体の一点にフックをかけられて裏返される) 捨てられることへの不安、恐怖。

●わが生涯

右足が過去に引っ張られる。だが先へ行くしかない。

●席取り

(椅子をある場所に置く、座る、やめる。違う場所に置く、座る。) 自分の落ち着く居場所、得しそうなところを探す。

●重圧に耐える

壁に押し付けられるが、眼球の裏で壁を押して抵抗する。

●あたまがはじける

(結んでる髪の毛をほどいて頭を振る) ちゃんとする、ピチッとすることをやめてみる。これみよがし。

●ダンス(あの人と)

(あの人)に手をとられてダンス。最高の時間。最高のわたし。

●足が嫌がる

(壁、椅子に寄りかかって足をパタンパタン。)

●オズ

(テープを床に張ったり、伸ばしたりする)

『オズの魔法使い』最高！子供の頃映画をみて、ドロシーになりたいと思った。テープでレンガの道を作って、魔法の靴をはいて歩く。

●雑誌

(顔写真のページを自分の顔に巻く) わたしは平気です、ダメージ受けてません。 内心ズタズタですが。

●ワルツ

綺麗なひとが、優雅にワルツを踊る。 完璧の象徴。

Yu Kai

(Radio's Noise continually)

Close to & Deviate from

Semitransparent small pieces of white cloth hanging under the ceiling/sewing the cloth use the color thread/sewing the cloth and my clothes together/struggle, want to escape

(if u think it's worth to try, would u pls. prepare several small pieces of white cloth, needle and thread?)

Confront

Radio's Noise & Hair drier noise

eating the melon seeds in front of the hair drier/ sit down in front of the hair drier/do up the hair continually/use the hair drier against to the radio/use different part of body or actions confront the radio noise

Passiveness

Sit down on the radio/moving with the radio's noise or say sth.

Drown

Sit into a big paper box with the radio/scratch body and box /lying in the box and stretch out feet (if u think it's worth to try, would u pls. prepare about 8 paper boxes ——88(length)*40(width)*50cm(height))

中島彰宏 Akihiro Nakajima 『全てが自分の中からこぼれ落ちてゆく』

★ゴキブリ 滴

洗濯物の中で、洗濯物や毛布、布団を弄っている 仰向で微細に跳きながら、蠢く手足の拘縮した、寝たきりの人の着脱行為

★洗面台で

洗面器で顔を洗う、嗽をする、ブクブク 自分を洗い流している時間

★壁に凭れる

首の根元と肩甲骨の間で体を支えている 無気力 脱力感

★身体に地図を書く

実家、又は自宅近隣を思い出しながら、地図を書いている

★煙草をプカプカ吸う

金魚がパクパク口をするように おちょぼ口 気が抜けた感じ 煙草で遊んでいる

★タオルで顔を覆う

「I Put a Spell on You」を歌う

★喝采

耳に手を当て、しかめっ面をしているような顔 記憶の淵に残る思い出 羨望 渴望感 フラッシュバック

★渦

マンホールに身体が吸い込まれる 人部屋に居る 言い依るべくもない不安感 淀み 日常の奥底に落ち込む 津波

・日常の感覚で

・空缶が潰され、搾られていくように

・マンホールの中で言葉を発する

「こんな感じで、一日が終わっちゃうんだ。明日、飛び立つために、今日は寝てしまおうんだ。」

●排水口の音

★耳飾り

老女へのオマージュ ドレス、手袋を壁に飾る 老女の記憶 中央をゆっくり歩く 千鳥足

★漂流者

ツイストを踊る あてどもなさ 叶わなかった彼の夢 憧れ

★デップを髪に撫でつける

★空缶を潰す

人知れず ガザガザと音を出している

★客席から舞台へ話しかける

「お前に魔法をかけてやる、いいじゃん、行こうよ、一緒に、嘘じゃないって、本当はお前も、一緒に行きたいんだろ？だからお前に魔法をかけてやる・・・」

●音

*排水口の音

*薬缶の沸騰する音

*チャーリー・パーカー、ツイストでの曲

*老女の歌声「東京ラブソディ」